

令和7年度 燕市 海外派遣事業・姉妹都市交流事業

報 告 書

"Reunion - Strengthening Friendship with Our Sister City, Sheboygan"



【海外派遣事業・姉妹都市交流事業】

アメリカ合衆国ミシガン州シェボイガン市



アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ市



表紙写真説明

上段左：シェボイガン市庁舎内で市長、市長国際委員会メンバーと

上段右：ピースパークで親善大使が作成した平和を願う石

下段左：ミレニアムパークでの集合写真

下段右：シカゴにある日本国総領事館にて総領事と

令和 7 度 燕市海外派遣事業・姉妹都市交流事業 報告書 目次

はじめに	燕市長 佐野 大輔	3
ごあいさつ	燕市教育長 小林 靖直	4
	海外派遣事業日程	5
	親善大使活動報告	6
	親善大使体験報告	7
	海外派遣事業引率者報告	25
	親善大使アンケート	26

親善大使活動報告

1 PR活動の内容

(1) プレゼンテーション

- ① 燕市の自然・地理・交通・農業
- ② 燕市の学校教育
- ③ 燕市の金属加工業
- ④ 燕市の観光・名所

(2) 表敬訪問

- ・シェボイガン市役所
- ・在シカゴ日本国総領事館



シェボイガン市長室にて

2 期日・場所・対象者

No.	場所（対象者）	期日
(1)	シェボイガン市役所（シェボイガン市長、市長国際委員会の皆さん等）	7月31日（木）



燕市PRプレゼンテーションの様子



姉妹都市であることを示すブロック

はじめに

燕市長 佐野 大輔



昨年度に引き続き、Jack & Betty プロジェクトの海外派遣事業と姉妹都市交流を合わせた形で、スピーチコンテストの出場者から選ばれた9名の親善大使を姉妹都市であるシェボイガン市に派遣しました。今年度は、シ

エボイガン市の事情により、日程の短縮や、ホームステイを含む予定していた活動の変更を余儀なくされました。派遣中止も想定される事態でしたが、無事にシェボイガン市への派遣を実現することができたことをうれしく思います。派遣の目的である「燕市のPR活動」において、シェボイガン市長やシェボイガン市長国際委員会の皆様に向けて、産業や文化、伝統技術などを紹介し、相互交流を深めることができました。また今年度は、シカゴにある日本総領事館を訪問し、総領事や職員の方にシェボイガン市での学びについて報告したり、現地で働く外務省職員の方の生の声を聞いたりする機会を得ることができました。海外に興味・関心を向け、英語力を向上させたいという思いをもつ親善大使にとって、貴重な機会だったことでしょう。

今回の海外派遣事業は、燕市の関係者の皆様の多大なるご理解とご支援、さらにはシェボイガン市長や市長国際委員会の皆様の温かい歓迎があつてこそ実現しました。本事業にご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

今日、世界的なグローバル化が進む中で、本市においても多様な背景を持つ人々が共に暮らし、働き、学ぶ日常が広がっています。私たちが目指すべき外国人との共生社会は、言葉で語るだけでは叶いません。互いの文化や価値観を尊重し、多様な人々が安心して生活し、能力を発揮できる環境を築くことが重要だと考えます。

まず、異なる文化や習慣への正しい理解を深めることが必要です。本市では Jack & Betty プロジェクトを始めとする国際交流イベントや教育プログラムを通じて、市民が互いに学び合える機会を広げてまいります。

今後も、燕市の未来を担い、国際社会で活躍できる人材の育成に努めてまいります。また、国際交流事業を通じて市民の皆様の国際理解が一層深まるとともに、燕市の魅力を世界に発信していくよう、さらなる充実を図ってまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

ごあいさつ

燕市教育長 小林 靖直



燕市教育委員会では、「燕の未来を担い、国際社会で活躍する人材の育成」

を目指し、親善大使の海外派遣事業を実施してまいりました。昨年度に引き続き、Jack & Betty プロジェクトとして、姉妹都市であるアメリカ合衆国ウィスコンシン州のシェボイガン市に親善大使を派遣することができました。今年度は、私も市長代理として親善大使に同行し、現地でシェボイガン市長と面会する機会を得ました。

今回の派遣では、中学生 5 名、高校生 4 名、引率者 3 名の計 12 名が参加しました。9 名の親善大使は、燕市を英語で PR するためのプレゼンテーションの準備を入念に行い、海外派遣出発前には、燕市国際交流協会の総会にお招きいただき、準備したプレゼンテーションを披露させていただきました。おかげさまで、現地で自信をもってシェボイガン市長や市長国際委員会の方にプレゼンテーションを披露することができました。また、今年度は、シカゴにある日本総領事館を訪問し、現地では、溝渕総領事や外務省の職員の方々と懇談する機会を得ました。直接お話を聞き、国際的な仕事をする上で大切なことなど、貴重なお話を聞くことができました。

現地の方と関わり、英語を用いたコミュニケーションの実践力を培った親善大使の皆さん、今回の経験を通じて、将来、シェボイガン市と燕市をより強く結ぶ推進役となってくれることを確信しております。

今後も、親善大使の皆さんには高い目標を持ち続け、この経験を多くの人々に伝えながら、学校や地域、そして様々な場面でリーダーとして活躍していただけることを期待しています。

最後になりますが、今回の姉妹都市派遣事業にご協力いただいた事業者の皆様、保護者の皆様、そして地域の皆様に心より感謝申し上げます。今後もこのような事業をさらに充実させ、燕市の子どもたちの人材育成に尽力してまいりますので、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度 燕市海外派遣事業・姉妹都市交流事業日程

期日	時間	活動
7月30日（水）	6:24	燕三条駅発 新幹線とき 300号で東京へ モノレールで羽田空港へ
	8:58	羽田空港到着 出国手続き
	11:30	日本航空 10便にてシカゴ空港へ
	10:10	シカゴ空港到着 入国手続き
	14:00	ウィリスタワー見学
	15:30	シェボイガンに向けて出発
	20:30	ホテルに到着、チェックイン
7月31日（木）	9:00	ブックワームガーデンズ見学
	10:45	ジョン・マイケル・コーラーアーツセンター訪問
	14:00	シェボイガン市役所を訪問 ソレンソン市長、MICメンバーに挨拶、プレゼン(約15分) 市庁舎見学、市職員と挨拶、議場体験、市長室で写真撮影
	15:00	ダウンタウン地区を散策、ビジターセンター等訪問
	16:30	ピースパーク訪問、ワークショップ参加、ミシガン湖のビーチを散歩
	18:00	シェボイガン市長国際委員会主催ピザパーティー、地元フェンシングクラブのデモンストレーション鑑賞
	19:30	シティーグリーン広場でコンサート観覧、ワークショップ、フードトラック
	20:45	ホテル到着
	9:00	ホテルを出発、シカゴへ移動
8月1日（金）	14:00	在シカゴ日本国総領事館表敬訪問
	15:30	シカゴ美術館見学
	17:30	ミレニアムパーク訪問
	20:30	ホテル到着、チェックイン
	9:00	ホテルを出発
8月2日（土）	9:30	シカゴ空港着 出国手続き
	12:30	日本航空 55便 で成田空港へ
	15:15	成田空港到着 入国手続き
8月3日（日）	19:40	京成スカイライナー等で浅草へ
	19:40	ホテル到着、チェックイン
8月4日（月）	9:00	浅草散策、外国人旅行者との実地研修
	13:30	JICA 地球ひろば訪問
	16:40	東京駅出発 とき 331号で燕三条へ
	18:29	燕三条駅到着 解散

①小さな勇気がくれた大きな学び

燕市立吉田中学校 3年 関川 泰雅

このたび、姉妹都市交流事業の一環として、アメリカ合衆国ウィスコンシン州シェボイガン市に行ってきました。派遣期間中は、シェボイガン市の方々や市民の皆様との交流を通じて、日米両国の文化・価値観の違いを肌で感じることができました。

強く印象に残っていることは、日本と比べて、現地の店員さんや市民の方々がとてもフレンドリーに接してくれたことです。現地の方々とどう接したらいいのかわからなかった時に、とても優しく話しかけていただき、そのおかげでいろいろな方と交流をすることができました。その他にも、市民参加の意識が高いことも印象に残っています。特に、野外コンサートでは、踊ったり、犬と遊んだりする人たちもいて、同じ音楽をそれぞれのスタイルで楽しんでいました。そして曲が終わった際には、聴衆が一体となって盛大な拍手でイベントを盛り上げているなど感じました。

このように、様々な活動を通して、アメリカの生活や文化に直接触れることができました。日常生活の中での多様性を尊重する価値観や自ら積極的に物事に取り組む姿勢など、日本では経験したことのない異なるライフスタイルに触れたことは、私にとって非常に貴重な経験でした。

派遣期間中には、シェボイガン市役所の方々に向けて、燕市についてプレゼンテーションを行いました。楽しそうに発表を聴いてくれて、うれしかったです。燕市の有名な物についてやりとりをする中で、互いの生活や環境の違いなどを伝え合うことができました。

今回の派遣を通じて、国や文化を越えて人と人との理解し合う大切さを学ぶことができました。異なる文化背景を持つ人々と理解し合い、協力するためには、「言語力以上に「相手を知ろうとする姿勢」と「お互いの文化を体験すること」が重要であると実感しました。今後はこの経験を活かし、地域社会や学校においても国際的な視野をもって行動し、多文化共生に貢献していきたいです。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

A Small Act of Courage That Taught Me a Big Lesson

Taiga Sekikawa

Yoshida Junior High School 3rd grade

As part of our sister city exchange program, I visited Sheboygan in Wisconsin, USA for six days. During this time, I gained a firsthand understanding of the cultural and value differences between Japan and the United States through interactions with the people of Sheboygan.

What particularly stood out was how friendly the local shop staff and citizens were in comparison to Japan. This was my first trip abroad, so when I was unsure how to interact with locals, people were very kind and helped me. Thanks to that, I was able to connect with many different people.

What also left a strong impression was the remarkably high level of community engagement. For example, at an outdoor concert people were dancing, playing with their dogs, and enjoying the music in their own unique ways. When the music ended, the audience came together to celebrate with enthusiastic applause, creating a lively atmosphere.

Through these various activities, I was able to experience American life and culture firsthand. Experiencing values that emphasize diversity in daily life and the proactive attitude of individuals toward their activities. I experienced lifestyles that were different from anything I had experienced in Japan. It was an invaluable opportunity for me. Through conversations with local people, our mutual understanding of each other's cultures deepened, and I was reminded of the significance of international exchange.

During my time in Sheboygan, we made a presentation promoting Tsubame City. The staff at the Sheboygan City Hall listened to the presentation with enthusiasm, and it was a real pleasure. Additionally, city officials came to ask questions about Tsubame City, allowing us to share insights about our respective lifestyles and environments.

Through this assignment, I learned the importance of mutual understanding between people across national and cultural boundaries. I realized that to understand and cooperate with people from different cultural backgrounds, what matters more than language skills is the attitude of wanting to know the other person and experiencing each other's culture. Moving forward, I aim to leverage this experience to act with an international perspective within my local community and workplace, contributing to multicultural coexistence.

Finally, I would like to express my heartfelt gratitude to all those involved for providing me with this invaluable opportunity.



初めての海外「シカゴ」



思い出の市長席

②新しい自分への一歩

燕市立吉田中学校 2年 小林 実央

私は、自分の英語力を向上させるために、海外派遣に応募しました。この海外派遣は、私にとって大切な思い出になったと言える研修になりました。

出発前、私は2つの目標を立てました。1つ目は、「燕市の魅力をわかりやすく伝える」ことでした。2つ目は、「現地の人と自信を持って会話をする」ことでした。親善大使として、現地の方との会話を通して、「燕市の魅力をもっと沢山の人に知ってもらいたい」という思いでシェボイガン市へ行こうと考えました。

この派遣では、市庁舎や総領事館の訪問など、貴重な体験をさせていただきました。ブックワーム・ガーデンズやコンサート、ミレニアムパークなど外での活動もありました。また、ジョン・マイケル・コーラーアーツセンターやシカゴ美術館などにも行くことができ、芸術に触れる機会も多かったです。シェボイガン市庁舎を訪問させてもらった際には、私達は燕市に関するスピーチをさせていただきました。スピーチや燕市に関するクイズなど、皆さんのが頷きながら聞き、楽しんでいる様子でした。「燕市の魅力をわかりやすく伝える」目標は達成できたと思います。

現地の人と会話をするときは、しっかりと理解して受け答えをすることができました。シカゴ市でスーパーに行ったとき、店員さんが「どこから来たの。」「どこに行くの。」と話しかけてくれました。私が「シェボイガン市に行く予定です。」と答えると、彼女はシェボイガン市出身だと教えてくれました。現地の人と話す貴重な経験になりました。少し聞き取れなかったところもあったけれど、自信をもって会話することができました。私は美術館に行くことが好きで、シカゴ美術館に行ったことが一番記憶に残っています。渡航前に、どんな絵画があるのかなどホームページを覗き、より一層楽しみにしていました。見たかった作品を見てることができて、とても有意義な時間でした。

海外派遣事業を支えてくれた市の職員の皆様、家族、共に行った仲間たちに心から感謝しています。海外派遣があつたからこそ成長することができたと思っています。貴重な機会をありがとうございました。私は、この経験を、将来に活かしたいと考えています。そして、夢に向かって走り続けます。

A Step Towards a New Me

Mio Kobayashi

Yoshida Junior High School 2nd grade

Last year, I applied for an opportunity to travel overseas to improve my English skills. This overseas training program has become a precious memory for me. Before departure, I set two goals. My first goal was to convey the charm of Tsubame city in an easy-to-understand way. And the second one was to have some confidence and have a conversation with the local people.

As a goodwill ambassador, I decided to go to Sheboygan with the hope of letting more people know about the charms of Tsubame through conversations with local people. When we visited Sheboygan City Hall, we gave a speech about the many charms of our city, including its high-quality metal products, delicious food, and scenic sightseeing spots. Everyone seemed to be enjoying themselves, nodding along as they listened to the speeches and quizzes about Tsubame City. I believe we achieved our goal of "communicating the appeal of Tsubame City in an easy-to-understand manner."

When I conversed with the locals, I was able to understand and respond well. So, I think we achieved the second goal as well. When I went to the supermarket, a clerk spoke to me.

"Where are you from?" she asked. "Where are you going?"

I answered, "I'm from Japan. I'm going to Sheboygan."

"I'm from Sheboygan!" she replied.

It was a valuable experience to be able to talk to local people. Although there were some parts I couldn't hear, I was able to converse confidently.

During this assignment, I had the opportunity to have valuable experiences, including visiting the city hall and the Consulate General of Japan in Chicago. There were also outdoor activities such as Bookworm Gardens, concerts, and Millennium Park. I also had many opportunities to experience art, such as visiting the John Michael Kohler Arts Center and the Art Institute of Chicago. I love going to art museums, and my most memorable visit was to the Art Institute of Chicago. Before traveling, I looked at the website to see what kinds of paintings there were, which made me even more excited. I was able to see the works I wanted to see, and it was a very meaningful time for me.

I would like to express my sincere gratitude to all the city officials who supported this overseas dispatch project, my family, and my colleagues who traveled with me. I believe that I was able to grow as a person thanks to this overseas assignment and am grateful for this valuable opportunity. I would like to make use of this experience of being sent overseas in the future and I will continue to run towards my dreams.



在シカゴ日本国総領事館での1枚



思い出の始まり

③みんなで作った最高の思い出

燕市立吉田中学校 2年 林 愛結

私はいろんな経験をすることが大事だなと思い、このプロジェクトに応募しました。出国する前は、期待と不安でいっぱいでした。飛行機の中ではずっと落ち着かない気持ちでいて、あまり眠ることができませんでした。

私はこの海外派遣の目標を 2 つ設定しました。1 つ目は、現地の人とゆっくりでもいいからたくさん話し、ネイティブ英語を聞き取ることができるようになることです。学校の授業では体験できないような速い英語を聞き取ったり、現地の方と英語で話したりして、自分の英語力を向上させ、将来に役立てたいと思ったからです。また、伝わらないときはジェスチャーなども入れてなんとか思ったことを伝えようと思いました。2 つ目は、現地の人に燕市や日本の魅力を伝えることです。そのために、事前に燕市について調べ、燕市の魅力をできるだけ考えました。

オヘア国際空港に着くと、最初は、シカゴにあるウィリス・タワーに登りました。その後、レストランに行きパスタを食べました。そのパスタはサイズがとても大きくて、食べきれませんでした。これがアメリカでは普通のサイズなのかと、驚きました。私が一番印象に残ったのは、観光案内センターでの出来事です。お土産を見ていたら、現地の人に話しかけられました。ミシガン湖の話をしてくれました。もちろん、英語でした。理解するのに時間がかかりましたが、ジェスチャーを交えてくださり、とても分かりやすかったです。その方は、大使全員分のバッヂをプレゼントしてくださいました。シェボイガン市の方も、燕市の人と同じように優しいということを実感しました。

私の1つ目の目標である現地の人との交流では、もう少し自分から話しかければよかったなと思いました。最初はできなかったのですが、徐々に自分から色んな人に挨拶をするようになり、挨拶が返ってくる嬉しさを感じました。2つ目の目標である魅力の発信は、あまり実践することができませんでした。その代わりにシェボイガンの魅力をいっぱい知ることができました。私はこの派遣を通じて、現地の人との関わり方、挨拶をして挨拶を返してもらえたときの嬉しさを知りました。海外だからこそ、挨拶を返すことの大切さを学ぶことができたのだと思います。

私はこのプロジェクトのためにたくさん準備してくださった方々、そして家族にとても感謝しています。私はこの経験を活かして、これからも燕市や日本の魅力をもっと知っていきたいです。

The Best Memories We Made Together

Yua Hayashi

Yoshida Junior High School 2nd grade

I applied for this project because I believe it is important to gain a variety of experiences. Before leaving the country, I was filled with anticipation and anxiety. I felt uneasy the whole time on the plane and didn't get much sleep.

I set two goals for this overseas trip. The first was to talk a lot with local people, even if it's slowly, and become able to understand native English. I wanted to improve my English skills by listening to fast English that I would not experience in school classes and by speaking with local people in English, and use these experiences in the future. Whenever I couldn't get my point across, I would try to use gestures and other things to somehow get my point across. The second was to convey the appeal of Tsubame City and Japan to local people. To do this, I researched Tsubame City in advance and thought about as many of it at attractions possible.

When we arrived at O'Hare International Airport, our first stop was the Willis Tower in Chicago. Afterwards, we went to a restaurant and had pasta. The pasta was so big that I couldn't finish it. I was surprised to find out that this was a normal size in the U.S. The most memorable experience for me was at the tourist information center in Sheboygan. While I was looking at souvenirs, a local person spoke to me. He told me about Lake Michigan. Of course, it was in English and it took me a while to understand, but the gestures used made it very easy to understand. The person presented us with badges for all the ambassadors. I realized that the people of Sheboygan are just as kind as the people of Tsubame.

Regarding my first goal of interacting with local people, I wish I had been more proactive in talking to them. At first, I couldn't do it, but gradually I started to greet people on my own, and I felt happy when the greetings were returned. The second goal, promoting the appeal of the area, was not quite achieved. Instead, I was able to learn a lot about Sheboygan's charm. Through this assignment, I learned how to interact with local people and the joy I felt when I said hello and they greeted me back. I think it was precisely because I was overseas that I was able to learn the importance of returning greetings.

I'm very grateful to the people who prepared so much for this project, and to my family. I'd like to use this experience to continue learning more about the charms of Tsubame City and Japan.



Willis・タワー



アメリカサイズのパスタ

④私を大きく成長させた旅行

新潟県立燕中等教育学校 4年 青柳 昊樹

私はこの夏、燕市の親善大使として、アメリカのシェボイガン市を訪問しました。海外派遣を通して、アメリカについて多くのことを学びました。それは本当に良い経験でした。私がそこで学んだことについて紹介します。

まず、今回の目標は、自分の英語力を高めるためにたくさんの外国人と英語で話すことでした。外国に行くのが初めてなので、派遣前は少し緊張しました。自分の伝えたいことを正しく伝えられるか、とても不安でした。しかし、飛行機の機内で、外国の方とアメリカのことやお互いの趣味について英語で会話をすることができました。この経験は、私に自信を与えてくれました。それから、現地の人々との会話に挑戦をしました。会話の速度が速くて、最初は聞き取りにくかったです。たくさん話していくうちに聞き取れるようになりました。これまで学んだ英語を使って、自分の意見をしっかりと相手に伝えることができました。自分の考えを伝えることができて、とても嬉しかったです。これからも英語能力をさらに高め、役立てていきたいと思います。

また、親善大使として燕市を紹介する役目がありましたが、全うすることができました。私の役目は観光名所の紹介でした。多くの練習を重ね、現地の人たちに発表することができました。燕市に関心をもってもらい、とてもうれしくなりました。機会があれば、今度はアメリカのことを燕市の人々に伝えたいなと思いました。

この海外派遣を通して、たくさんのこと挑戦することが大事なのだとと思いました。新しいことに挑戦することで、自分の可能性を広げることができました。もちろん、失敗することもありました。それでも、挑戦し続け、自分の可能性を広げることができた今回の旅行は、成功だったと言えます。これからも、失敗を恐れず、様々なことに挑戦していきたいです。そしてこの貴重な経験を将来に役立てたいです。

最後に、学校の先生や JTE、ALT など、たくさんの人の支えで行くことができました。ありがとうございました。

The Trip That Made Me Grow Up

Koki Aoyagi

Niigata Prefectural Tsubame Secondary School 4th grade

I visited Sheboygan in America as a goodwill ambassador of Tsubame City for five days this summer. I learned a lot of things during my stay in America. It was a really good experience. I would like to introduce my experience of staying in America.

First of all, I set my trip goals. I wanted to talk with foreign people to improve my English-speaking skills. I had never been abroad, so this trip was my first time. I felt nervous before I traveled to America because I was worried if I could say what I wanted to say. However, I was able to enjoy talking with foreigners about America and hobbies on the airplane. This experience gave me confidence. When I actually tried to talk with local people, the conversation speed was very fast, and it was very difficult for me to keep up and understand at first. As we talked more and more, I started to understand better. Using the English I learned through school and Jack and Betty classes, I was able to clearly convey my ideas to local people and I was very glad I could. I hope to use these English skills in the future.

Also, we worked hard to present our culture as goodwill ambassadors. My role was to introduce tourist attractions in our hometown. After practicing diligently, we were able to give a presentation to the local people in Sheboygan. I was very happy that they were interested in my hometown's culture. If I have a chance, I want to introduce American culture to the people in my hometown.

I thought the most important thing was to keep challenging myself through this assignment program. Of course, I made a lot of mistakes on this trip. Even so, I decided to keep challenging myself, and I was able to push my limits. Therefore, I think this trip was successful, and this precious experience will be helpful for my future. From now on, I won't be afraid of making mistakes, and I'd like to keep challenging myself.

Finally, I believe this journey was only possible thanks to the support of so many people, including my school teachers, the ALT, JTEs, and others. Thank you.



Chicago pizza was so delicious!!



America has beautiful nature.

⑤伝える勇気と相手を想う気持ち

新潟県立三条高等学校 1年 笠原 嶋太

私は、燕市の親善大使として、アメリカ・ウィスコンシン州シェボイガン市への海外派遣に参加しました。新しい文化や人々と会えることに大きな期待を抱いて出発しました。派遣にあたり、私は二つの目標を立てました。一つ目は「積極的に英語でコミュニケーションを取ること」です。私は、将来英語を活かした職業に就きたいので、派遣を通してスピーチング力を高めたいと思いました。二つ目は「現地の文化や生活を深く理解すること」です。教科書で学ぶのではなく、直接体験することでしか得られない学びを大切にしたいと思いました。

派遣中は、シェボイガン市役所訪問や博物館・美術館の見学、レストランでの食事などを通じて、多くの体験をしました。特に印象に残ったのは、日本総領事館での体験です。私たちは日本国総領事館で、総領事館の職員の方々にたくさん質問をさせていただきました。留学をするときにどうすれば効率的に英語を学べるかたずねたところ、新聞をたくさん読むことや外を歩いていろいろな人と話すことが英語を学ぶために良いという回答を得ました。

目標の達成状況について振り返ると、一つ目については、シェボイガン市役所の方々と話したことや、レストランでの注文など、小さな成功を積み重ねることができました。二つ目については、シカゴ美術館で展示されている芸術作品やアメリカの食文化、街の雰囲気を直接体験し、日本との違いを肌で感じることができたことは、大きな成果だと思います。

今回の派遣を通じて、最も大きな学びは「伝えようとする姿勢の大切さ」です。完璧な英語が話せなくても、勇気を出して声をかければ、相手は必ず受け止めてくれることを知りました。この経験は英語学習への意欲を高めただけでなく、人との関わり方を見直すきっかけにもなりました。この経験から、コミュニケーションで大事なことは、相手を思いやり、寄り添って理解し合おうという心だと気付きました。

今回の派遣にあたり、燕市や学校の先生方、現地で受け入れてくださった方々、そして背中を押してくれた家族に心から感謝します。この経験を糧に、国際的に活躍できる人材を目指し、努力を続けていきます。

The Courage to Communicate and the Feelings of Caring for Others

Sota Kasahara

Niigata Prefectural Sanjo High School 1st grade

I joined the overseas program in Sheboygan City, Wisconsin, USA, as a goodwill ambassador for Tsubame from July 30th to August 4th, 2025. Before this program, I made two goals. The first was “to communicate in English actively.” I want to get a job in which I can use English in the future, so I wanted to improve my skill of speaking English. The second was “to gain a deeper understanding of the local culture and life.” I thought that it is important to learn not from textbooks but from real experiences.

During the program, I got to experience many things such as visiting the Sheboygan City Hall, going to museums and art museums, and eating at restaurants. What stuck with me the most was my experience at the Consulate-General of Japan. We got to ask many questions to the staff of the Consulate. I asked how to study English efficiently when studying abroad, and was told that it would be good to read a lot of newspapers and talk to various people.

Looking back on my goals, in my first goal, I had some small successes, such as talking with the people at City Hall or ordering by myself at a restaurant. For my second goal, I was able to experience firsthand the artwork at the Art Institute of Chicago, American food culture, and the atmosphere of the city. I think it was a great achievement to be able to experience the differences between Japan and America.

My biggest moment of learning from this program was “the importance of making an effort to convey my feelings.” Even if my English was not perfect, I found that when I had spoken with courage, people always worked with me.

Overall, this experience not only gave me more motivation to study English, but also gave me the opportunity to rethink how I connect with other people. From this experience, I noticed that the most important thing in communication is kindness and having the heart to try to understand each other. I also really want to thank Tsubame City, my teachers, the people of Sheboygan who took me in, and my family who pushed me throughout. I will use this experience as inspiration for the future and continue to make efforts to become a person who can make international impacts.



在シカゴ日本国総領事館での質疑応答



ミレニアムパークの The bean というモニュメント

⑥広がった私の世界

新潟県立燕中等教育学校 4年 細川 望美

私はこの夏、燕市の親善大使としてアメリカ・シェボイガン市を訪問しました。人生初の海外に胸を弾ませながら渡航し、期待と不安を抱えつつ現地の方々との交流に臨みました。

今回の派遣では二つの目標を立てました。第一に「現地の方々と積極的にコミュニケーションを取ること」です。初対面で緊張しやすい自分を変えたいと考えました。第二に「燕市を紹介し、行きたいと思ってもらうこと」です。自分のまちを伝えることで、相手の関心を高めたいと思いました。

現地到着後、シカゴの街並みに触れながら歴史について学びました。シェボイガン市では市庁舎を訪問し、燕市についてのプレゼンテーションを行いました。市長国際委員会の方々とは音楽イベントやワークショップを通して交流を深め、互いの文化を紹介し合いました。また、在シカゴ日本国総領事館を訪問し、国際関係や地域交流の意義について直接お話をする機会をいただきました。短い日程でしたが、現地の方々と多面的に交流することができ、大きな学びのある充実した時間となりました。

実際に、一つ目の目標は達成することができました。現地では勇気を出して会話し、自然に交流を楽しむことができました。しかし、二つ目の目標は十分に果たせませんでした。日本全体の話題に偏り、自分の市について伝える機会が少なかったからです。今後は伝える内容を整理し、より的確に発信できるよう努めます。

派遣を通して、初対面でも臆せず話しかけられる自信がつきました。特に、現地の方々の思いやりや優しさに触れたことで、人と接するときの姿勢を学びました。最も印象に残ったのは、音楽イベントで出会った女性の優しさです。シナモン味のチュロスを勧めてくれた際、苦手と知ると別のものを買おうしてくれ、その思いやりに心が温かくなりました。実際に食べたシナモン味のチュロスはとても美味しかったです。交流の場では相手の立場に立ち、互いを理解しようとする姿勢が大切だと実感しました。この学びを今後の生活に活かしていくたいです。

この派遣を支えてくださった市の皆様、受け入れてくださったシェボイガン市の方々に心より感謝いたしました。短い期間ながら多くを学びました。今後もこの経験を糧に積極性を忘れず、成長していきたいです。

My Expanded World

Nozomi Hosokawa

Niigata Prefectural Tsubame Secondary School 4th Grade

This summer, I visited Sheboygan City, USA as a goodwill ambassador for Tsubame City. I traveled abroad for the first time in my life with my heart fluttering, and I interacted with local people with expectations and anxiety.

For this dispatch, we set two goals. The first was to actively communicate with local people. I wanted to change myself, who was easily nervous at the first meeting. The second was to introduce Tsubame City and make people want to come to Tsubame. I wanted to increase the other person's interest by telling them about my town.

After arriving there, we gained knowledge about history while experiencing the cityscape of Chicago. In Sheboygan City, we visited the city hall and gave a presentation about Tsubame City. We deepened exchanges with the members of Mayor's International Committee through music events and workshops, and introduced each other's cultures. In addition, I visited the Consulate General of Japan in Chicago and had the opportunity to talk directly about the significance of international relations and regional exchanges.

Although it was a short schedule, I was able to interact with local people in many aspects, and it was a fulfilling time with great learning. In fact, I was able to achieve the first goal I mentioned above. I was able to have a courageous conversation with local people on the spot and enjoy interacting with them very much. However, I couldn't fully achieve the second goal because I talked more about the topic of Japan as a whole rather than Tsubame. In the future, I will try to convey the values of our city more accurately.

Through this dispatch, I gained the confidence that I can talk to people without feeling nervous even when meeting for the first time. Especially, the kindness and thoughtfulness of the local people made a strong impression on me, and I learned the attitude of how to get along with people from different cultures. One of the most memorable moments was meeting a kind woman at a music event. She recommended cinnamon-flavored churros to me, but when she found out that I didn't like cinnamon, she tried to buy a different flavored churro for me. Her consideration truly warmed my heart. The cinnamon-flavored churros I actually ate were very delicious. I realized that it is important to stand in the other person's shoes and try to understand each other in the field of interaction. I would like to make use of this learning in my future life.

Finally, I would like to express my heartfelt gratitude to everyone in the city who supported this dispatch and to the people of Sheboygan City who accepted us. I learned a lot in a short period of time. I hope to keep growing while staying proactive, without forgetting the lessons from this experience.



野外コンサートの様子



現地の方との交流

⑦みんなで成し遂げた成長

新潟県立燕中等育学校 4年 増田 樹

私にとって初めての海外は、急なスケジュール変更があり、出発前はとても不安が大きかったです。しかし、このアメリカ研修は、私が想像をしていたよりも何倍もの思い出に残る貴重な経験となりました。

私は、アメリカ研修に向けて、燕市の魅力を伝えるとともに、アメリカの魅力を知ることと、苦手な英語のスピーチングとリスニングの力を伸ばすことを目標としました。現地で英語を話したり、聞いたりすることでしか学ぶことができないことを学ぼうと、自分から積極的に英語でコミュニケーションをとることを心がけました。その結果、自分自身の成長につながったと思います。この旅の中で一番印象に残ったことは、二日目に行ったコンサートです。想像していたコンサートとは違い、野外で色々な人が色々な形で音楽を楽しむフェスのようで祭りのような、とても楽しい雰囲気のコンサートでした。私たちはコンサートを見るだけでなく、シェボイガン市の市長国際委員会の方たちと屋台と一緒に回ることができました。現地の方々と会話を楽しむことができて、とても嬉しかったです。私たちと現地の方々で屋台を周り、チュロスを食べたり、日本では見たことのないサイズの犬と触れ合ったりするなど、貴重な体験をすることができました。さらに、コンサート中に現地の方々と、私の好きな日本のアーティストについて会話できたことがとても嬉しく、私の苦手な英語のスピーチングについて、自信をつけることができました。

私はこの旅を通して、全てのことにおいて、自分から積極的に取り組むことの大切さを学びました。この旅に参加させてもらえるきっかけとなった英語のスピーチコンテストの出場も、自分が英語で話す経験を作りたいと思ったことが始まりでした。国際意識が必要な社会になってきている現代に、このような機会を与えてくださった燕市の方々、多くの準備をしてくださった旅行会社の方に改めて心より感謝申し上げます。この経験を生かして、私は、英語を活用して誰かを助け、誰かのためにになりたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

Growth We Achieved Together

Itsuki Masuda

Niigata Prefectural Tsubame Secondary School 4th Grade

Our trip was a quickly-planned visit because there were many last-minute schedule changes, so I felt very nervous before I left Japan. Many troubles happened, but the travel agency staff and Tsubame City Officials had prepared many things for us, so we could have many precious experiences.

My goals were to improve my English skills by practicing listening and speaking in an English-speaking country, to share what's fascinating about my city with the locals, and to learn about the charm of America from them as well. My most memorable point was a concert that we went to on the second day. It was different to my expectations. It was held outside and many people were enjoying it in their own way. I was very happy to spend an enjoyable time with people there. It was not only a music concert but there were many other things to do. I walked around the food stalls with the members of the Mayor's International Committee. At first, I was disappointed that the homestay was canceled, but I enjoyed talking with the local American people, so it was very fun. We walked around food stalls, ate churros, and played with dogs much bigger than we have in Japan. It was a precious experience. Moreover, I shared my favorite Japanese artists with the locals, and learned that they are famous there as well. It is certain that these experiences have given me great confidence.

Through this trip, I learned about the importance of taking proactive action. The reason I joined the speech contest last summer was because I wanted to gain experience speaking English. As a result, I was able to have more positive experiences. In today's society, where international awareness is becoming increasingly important, I would like to express my heartfelt gratitude to the city officials who provided us with such an opportunity and to the travel agency staff who worked tirelessly to make this happen. Leveraging this experience, I would like to offer my help to others in the future. Thank you so much for everything I gained from this experience.



現地の方との時間



ブックワームガーデンでの思い出

⑧アメリカで得たもの

新潟県立燕中等教育学校 3年 栗林 維納

私は、燕市の親善大使としてアメリカのシカゴ市、シェボイガン市に4日間滞在しました。私は以前から海外の文化に興味があり、親善大使としての活動に参加しました。

私たちは、シェボイガン市庁舎で燕市の PR をしたり、シカゴの総領事館を訪れたりしました。特に、いろいろな人と話したことが印象に残っています。コンサートではシェボイガン市の人と一緒に会場を回り、犬を連れている人と話したり、音楽に合わせてステージ前で踊っている人たちに混ざったりしました。また、ビジターセンターでは、去年の親善大使のことも知っているおじいさんがシェボイガン市についてたくさん話してくれました。

研修を通して、二つの目標を達成することができました。現地で関わる人に自分から積極的に英語で話しかけるという目標は、達成できたのですが、とつさに出る言葉は「Thank you.」や「Excuse me.」など同じような言葉ばかりだったので、もっと使える表現を増やそうと思います。もうひとつの目標は、燕市について正確に PR し、相手に理解してもらえるように英語表現や発音を工夫することでした。シェボイガン市庁舎でのプレゼン中、緊張で言い間違えてしまいましたが、伝わったと思ったので、少しだけ達成できたと思います。

私は今回の経験を通して挑戦することの大切さを学びました。話しかけるのを少しためらつていましたが、実際に話してみると、拙い英語でも会話をすることができます。この旅のおかげで自分の英語に自信がつきました。研修から帰ってきた後、今まであまり英語では話せなかつたアメリカ人の知り合いとも、英語で話すことができるようになりました。

私は将来、医療従事者になりたいと思っています。そのためにはたくさんの人とコミュニケーションをとることが大切です。これからも英語を学び、次にまた海外へ行く機会があったときに、今よりもたくさんのこと話をるようにしたいです。両親や燕市の関係者の方々、シェボイガン市の方々など、たくさんの人たちの協力のおかげでアメリカに行くことができました。たくさんの楽しい思い出や貴重な経験をさせてください、ありがとうございました。

What I Gained in the U.S.

Ina Kurabayashi

Niigata Prefectural Tsubame Secondary School 3rd Grade

I visited Sheboygan and Chicago in America as a goodwill ambassador of Tsubame City for four days. I'm interested in foreign cultures, so I decided to become a goodwill ambassador of Tsubame.

When I went to Sheboygan, we gave a presentation about Tsubame City at the Sheboygan City Hall and visited the Consulate General in Chicago. One of the highlights of the trip was talking with people at various places. Also, at a concert in Sheboygan, I felt relaxed walking around the venue, chatting with people who brought their dogs and mingling with those dancing in front of the stage. I remember the kindness of a man who told us about Sheboygan at the visitor center.

I achieved two goals through this program. I was able to achieve the first goal of talking with people actively, but I only used the same phrases such as "thank you" and "excuse me", so I want to practice speaking to improve my English. Although I made one mistake during the presentation at the City Hall in Sheboygan, I achieved the second goal of promoting Tsubame.

Through this trip I learned the importance of accepting challenges. I was hesitant to start talking to people in the U.S., but when I tried, people understood my strange English. This trip gave me confidence in my English. After returning home from the trip, I am more able to speak English with American friends, people I couldn't speak to before.

I want to be a medical professional in the future. To do that, it is important to communicate with many people. I want to learn more about English. I want to speak more if I get the chance to travel abroad again. I got the chance to go to the U.S. because of the help of many people: my parents, officials from Tsubame, and the people of Sheboygan.

Thank you very much for giving me a lot of fun memories and valuable experiences.



コンサートの後にシェボイガンの人たちと撮った写真



シェボイガンのコンサートのステージ

⑨自信をもって見える世界を鮮やかに

新潟県立燕中等教育学校 3年 土田 瑞璃

私はアメリカで自分の英語能力を高め、自分の英語力に自信を持てるようになりたいと思い、海外派遣に参加しました。私は、英語の発音や単語などに自信がありませんでした。このコンプレックスをアメリカへの派遣で少しは減らせるだろうと考えました。

出発する前に2つ目標を立てました。1つ目は、明るく燕市のこと伝えことです。シェボイガン市庁舎で、燕市の魅力をしっかりと伝えようと思いました。そして、シェボイガン市の方に、燕市に興味をもってもらい、燕市を大好きになってもらいたいと思いました。2つ目は、私の英語力を向上させることです。たくさん話しかけて、様々なことについて話そうと考えました。楽しく話すことができたらとても良いと思いました。もしわからぬことがあったら、それを放っておかげで理解できるようにしたいと思いました。このような目標を意識しながら、様々な経験をした6日間でした。

シェボイガン市庁舎での発表は、ジェスチャーを交えながら笑顔できました。聞いている人達も楽しんでいるように見えました。その後、シェボイガン市の方とお互いの国について楽しく話しました。普段より、自分から様々なことを話しかけられてよかったです。買い物の会計を英語ですることもできました。しかし、現地の方の英語を聞き取れないことも多くあり、まだまだ勉強が必要だと思いました。

様々な経験をしましたが、一番の思い出はお祭りです。陽気な音楽が流れていて、たくさんの人人が踊っていました。音楽を聴いていたら、シェボイガンの人たちに誘われて屋台を回りました。その後、みんなでコラージュを作り、楽しく会話することができました。勇気を出して日本語の「かわいい」という言葉を教えた後、とても喜んでくれてうれしかったです。

海外派遣を通じて、成長を実感しています。発表などを指導してくださった先生方、海外派遣についてくださった先生方、旅行会社の方々、ガイドの方、シェボイガンの方々、本当にありがとうございました。海外派遣は私の人生にとてもいい影響を与えたと思います。これからも、英語の勉強に情熱を注ぎます。一生、英語を好きでいたいです。

Confidence Makes My World More Colorful

Ruri Tsuchida

Niigata Prefectural Tsubame Secondary School 3rd Grade

I participated in an overseas training program because I wanted to improve and have confidence in my English skills. I didn't have confidence pronouncing English words. I thought I could improve it through this program.

I set two goals before leaving Japan. First, I wanted to cheerfully tell others about Tsubame city. I decided to do my best to share Tsubame's wonderful points in Sheboygan City Hall. It would make me so happy if more people became interested in Tsubame.

Second, I wanted to improve my English skills. I thought I should talk to as many people as possible in America and talk about many kinds of things. I think friendly communication is wonderful. If I couldn't understand words or sentences, I looked them up and tried to learn them. We had a lot of experiences and tried achieving these goals for six days.

I'm glad I made a speech with a smile and used body language at the city hall in Sheboygan. The people listening seemed to enjoy it. After that, I talked about Japan and the USA with people in Sheboygan. It was good to talk to people more than I normally would. However, I sometimes couldn't understand what they said, so I thought I should study English more.

Among the many experiences, my favorite memory was going to a music festival. Many people were dancing along to cheerful music. As we enjoyed the music, people in Sheboygan asked us to go around the food stalls and I said, "Yes". Then, we had a fun talk while we made a collage. I was happy that people in Sheboygan looked happy because I gathered the courage to tell them a Japanese word: "Kawaii"

I think I grew up so much through my experience on this trip. I appreciate the teachers that taught us how to make a good speech and travelled to America and Tokyo with us, the travel agency, the travel guide, and the people of Sheboygan. Thank you so much. This trip had a great influence on my life. I will keep pouring my heart into studying English. I want to love English forever.



晴天に恵まれたミレニアムパーク



一番の思い出のミュージックフェスティバル

引率者報告

燕市企画財政部 地域振興課

副参事 小林 麻砂子

燕市教育委員会 学校教育課

英語教育・国際交流専門 主査 横山 文子

13年ぶりに姉妹都市シェボイガン市を訪問した昨年度に引き続き、今年度は、9名の親善大使がシェボイガン市を訪問し、貴重な経験をさせていただきました。

今年度の親善大使海外派遣は、短い期間での派遣ではありましたが、シェボイガン市長や市長国際委員会の皆様をはじめとする地域の皆様から、あたたかく迎えていただきました。

シェボイガン市庁舎を訪問した際には、親善大使が燕市のPRプレゼンテーションを発表し、シェボイガン市長をはじめ、シェボイガン学区教育長代理、市長国際委員会の皆様、そして、市職員の方々から、あたたかい拍手をいただきました。

また、シェボイガン市長と市長国際委員会メンバーの案内で、市庁舎近くにあるダウンタウンを散策したり、地元のお店に立ち寄ったりし、お店の方との会話や慣れないドルでの買い物にも、一生懸命に英語でやり取りしようとする親善大使の姿は、とても頼もしいものでした。

その後に訪れたミシガン湖のほとりのピースパークでは、昨年度の親善大使が植樹した木を、わずかな成長でしたが、今回の親善大使と一緒に見ることができて大変うれしく思いました。

今年度も親善大使一人ひとりが、好きな色のリボンに平和を願うメッセージを英語で書き、大きな木の広く伸びた枝に結び付けました。色とりどりのリボンが、夏のミシガン湖から吹くさわやかな風にひらひらと煌めいていました。

引率者としては、姉妹都市交流に関わってくださっている地域の方々に直接会って感謝を伝え、今後も様々な形で両市の子供たちの交流が続していくように、具体的な話ができたことは大変有意義でした。

今回は、シェボイガン市訪問の後にシカゴにある日本総領事館を訪問する機会をいただきました。溝渕総領事や職員の皆様と懇談する時間を設けていただきました。初めに親善大使がシェボイガン市で行った姉妹都市交流活動を通して感じたこと、今後の目標を紹介させていただき、その後、総領事館職員の皆様がシカゴに赴任するまでの経緯や英語をはじめ、どのように語学を学んできたのかなど興味深く聞かせていただきました。これらすべての経験は、親善大使の皆さんのが将来自に必ず活かされること信じています。

最後に、今回の海外派遣事業に関わってくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。



親善大使アンケート

派遣先	学年	性別
アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 シェボイガン市	中学2年生 2人 中学3年生 3人 高校1年生 4人	男 3人 女 6人

Q1 海外派遣はどうでしたか？

①とてもよかったです 8人 ②よかった 1人 ③ふつう 0人 ④よくなかったです 0人

●その理由は？（具体的に）

- ・ アメリカと日本の文化の違いや人々の優しさを、実際に体験することで学べたから
- ・ ホームステイはできなかったけれど、コンサートの時に現地の方と一緒に屋台を回ったり、好きなアーティストについて紹介し合ったりすることができたから
- ・ 現地の観光名所に行って海外の文化に触れることができた
- ・ 海外派遣を通じて今の自分の英語力を知ることができたから
- ・ 現地の人達と交流をし、更に英語力を上げることができたから
- ・ 現地の良さがわかったから
- ・ 全てが楽しかったから
- ・ 特に、音楽イベントで現地の方たちとたくさん話したことがとても嬉しかったから
- ・ アメリカの人とたくさん話せて楽しかったから
- ・ ホームステイはなくなったけれど、他の活動を通して現地の人と英語で話すことができたから
- ・ 海外に行くことは初めてだったが、現地の人と話してより自分の英語を磨くことができたから

Q2 日程はどうでしたか？

①きつかった 0人 ②ややきつかった 4人 ③やや楽だった 3人 ④楽だった 2人

●体調や精神面で特につらいと感じたときはありましたか？あれば具体的に書いてください。

（ 飛行機、英語、食事、日程など ）

- ・ アメリカに着いたときと日本に帰って来たとき、時差であまり疲れなかった
- ・ 総領事館のときはとてもプレッシャーを感じ、ホテルに着いたらすぐ寝てしまった
- ・ 食事の量が多く、常に満腹に近かった

Q3 期間はどうでしたか？

①長かった 0人 ②やや長かった 0人 ③ちょうどいい 1人 ④やや短かった 5人
⑤短かった 3人



市役所での出発前

Q4 海外派遣の中で、良かった場所や活動は何ですか？ 「特に良かった」ことに○を1つ、「良かった」ことに○を4つ以内で記入してください。また、「良くなかった」ことがあれば、△を3つ以内で記入してください。

◎「特に良かったこと」

- ・ シェボイガン市庁舎に訪問できたこと
- ・ シェボイガン市庁舎でのスピーチ
- ・ 現地の人と一緒に食事を楽しむことができたこと
- ・ コンサート（現地の方と交流できしたこと）
- ・ 日本総領事館訪問
- ・ シカゴ美術館に行けたこと
- ・ ダウンタウン地区の散策



シカゴ：日本総領事館訪問

○「良かったこと」

- ・ ウィリス・タワーからの景色を見られたこと
- ・ 現地のレストランに行き、現地ならではのご飯の量やお店の雰囲気、店員さんの対応などを体験することができたこと
- ・ ハンバーガー屋では、アメリカらしいユニークな感じで面白かった
- ・ ビーチ、ブックワームガーデン、ピースパーク、ミレニアムパーク、トレジョ

△「良くなかったこと」

- ・ JICA
- ・ JMKAC（ジョン・マイケル・コーラーアーツセンター）

Q5 海外派遣で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどがあれば、具体的に書いてください。

- ・ ホテルで靴を脱ぐかどうか分からず、戸惑った
- ・ 食事がとても多かった

Q6 来年へのアドバイス。

- ・ アメリカの人はみんな優しいから、自分から話しかけたほうがいい
- ・ 怖がらずにたくさん現地の方達と会話してみてほしい
- ・ 最初は怖かったけれど、大使の仲間がいるので、安心して楽しめる
- ・ 英語が話せなくてとても不安になることがあると思うが、単語レベルで話したり、ジェスチャーをすることで、現地の方が言い換えてくれたり、教えてくれたりする
- ・ 自信をもって何か話してみてほしい
- ・ 自分の英語力を試せる貴重な体験なので、何事にも積極的に取り組んでほしい
- ・ 出発前にリスニングの練習をしたほうがいい
- ・ アメリカではたくさん英語で話しかけてみるといい
- ・ 下手な英語でも聞き取ってもらえるので、まずはたくさん的人に英語で話しかけてみよう
- ・ スピーチコンテストでの経験をもとに、積極的に生活や会話を楽しんでほしい
- ・ 英語を話すことを上達させたいなら、近くの外国人に恥ずかしがらず、どんなことでもいいのでたくさん話しかけるといいと思う
- ・ 海外派遣に行けるという機会はすごく貴重なものなので、ぜひ自分の目標を考えて自分はこの海外派遣で何をするべきなのかをはっきりとさせて臨んでほしい



JICA にて異文化について学ぶ



発行／新潟県燕市 企画・編集／燕市教育委員会 学校教育課